

**肝炎医療コーディネーターは**  
平成31年3月までに、全ての都道府県で養成が始まり、  
これまでに全国で16,000名を超える  
肝炎医療コーディネーターが誕生しています。

※養成は、医師や看護師、保健師、臨床検査技師、薬剤師、歯科医師・衛生士といった医療従事者のほか、  
医療ソーシャルワーカー、医療事務、自治体職員、患者会の代表など肝疾患に携わる立場の方を対象としています

これが目印!



あなたの身の回りにはあなたを支援してくれる  
**肝炎医療コーディネーター**がいます。  
全国47都道府県の71ヵ所の拠点病院の  
肝疾患相談センター窓口でも相談できます。



もしも肝臓病と言われたら ～患者さんたちからのメッセージ～

厚生労働科学研究費補助金 肝炎等克服政策研究事業  
肝炎ウイルス検査受検から受診、受療に至る肝炎対策の効果検証と拡充に関する研究  
研究代表者 江口 有一郎(佐賀大学)、分担研究者 米澤 敦子(東京肝臓友の会)  
発行者: 佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター  
〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島5丁目1番1号  
発行年月 令和元年11月

編集協力: 株式会社ビジネスインテリジェンス

# もしも 肝臓病と言われたら...

～患者さんたちからのメッセージ～



もしあなたが肝臓病と言われたらどうしますか。

放っておきますか、それとも専門の医療機関を受診しますか?

その答えは迷うことなく「すぐに受診」して、必要であれば「すぐに治療」です。

本冊子は肝臓病の患者さんたちの体験談にもとづいて作成しました。

体験した人だからこそ言えることや

具体的な行動指針、相談方法などをまとめています。

あなたとご家族の将来のために、ぜひメッセージを受け止めてください。

厚生労働科学研究費補助金 肝炎等克服政策研究事業  
肝炎ウイルス検査受検から受診、受療に至る肝炎対策の効果検証と拡充に関する研究

研究代表者 江口 有一郎

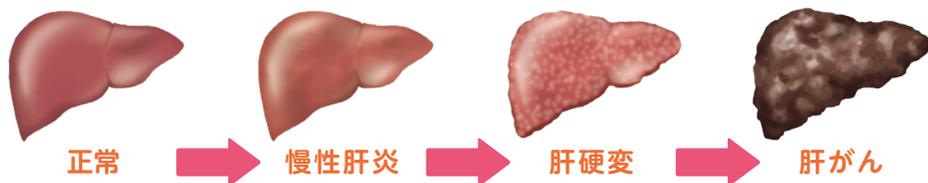
# Q なぜ肝臓病を放っておくといけないの？



肝硬変や肝がんという命に関わる病気に進行する怖れがあるからです。

お酒の飲み過ぎや肥満による脂肪肝、肝炎ウイルスの感染など様々な原因により、肝臓に炎症が長く続くことを慢性肝炎と言います。慢性肝炎になっても、初期のうちは症状があまりないため、詳しい検査や治療を怠ってしまう人もいますが、そのまま放置しておくと、徐々に肝臓が硬くなり（肝硬変）、肝がんができる危険性が高くなってしまいます。

## 肝臓病の進行過程



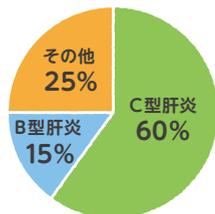
肝がんの主な原因であるB型肝炎とC型肝炎には良く効く薬があるので、すぐに専門の医療機関を受診しましょう。

肝がんの原因の約75%が、B型肝炎ウイルスとC型肝炎ウイルスによるものです。

現在では、副作用の少ない飲み薬による治療で、B型肝炎の進行をおさえたり、C型肝炎のウイルスを消すことができるようになってきました。

肝臓病と言われたら、すぐに専門の医療機関を受診して、治療を始めるかどうかを相談しましょう。

## 肝がんの原因



出典：日本肝臓学会 肝がん白書 平成27年度より

# 先輩患者さんの体験談から肝炎を知りましょう！



## C型肝炎 (46歳 男性)

仕事が忙しく、土日は疲れてずっと家で過ごすような状態でした。治療してウイルスを排除したら、そんなことはなくなり、あのだるさはC型肝炎のせいだったんだなと思いました。

## C型肝炎 (72歳 女性)

治療してウイルスを排除してから食欲がでて、ご飯ってこんなにおいしかったんだと思いました。

## B型肝炎 (50歳 女性)

経過観察中、ウイルスの量が多く主治医から服薬治療を勧められていましたが、一生飲まなければならないと言われ、治療に踏み切れませんでした。でも肝がん発症の恐れもあるとのことで思い切って治療を始めたら、副作用はないしウイルスの量もどんどん減ってきて、もっと早く薬を飲めば良かったと思いました。

## B型肝炎 (65歳 男性)

治らない肝硬変と診断され絶望的でしたが、ウイルスを減らす薬を服用してから肝臓の状態がよくなり、主治医から「慢性肝炎の状態に回復してきたよ」と言われ、ほっとしました。

## C型肝炎 (64歳 女性)

寝ている時、ふくらはぎがつって目が覚めることが多かったのですが、治療後はそれがなくなりました。



治療を受けたら元気になりました！

※いずれも東京肝臓友の会に寄せられた実際の相談事例より

## 内服薬のみで副作用の辛さもなく 治療のハードルが低くなりました

### C型肝炎(55歳 女性)

以前インターフェロンの治療でひどい副作用があり、もう治療はしたくないと思っていましたが、同じC型肝炎の知人に「副作用はほとんどないから」と新しい内服薬による治療を勧められ、薬を服用したら、インターフェロンのような辛さはまったく感じずに身体の中のウイルスを消してしまえることができました。びっくりしています。

## 気持ちがとても楽に。

### C型肝炎(70歳 女性)

ウイルスがある時は、そんなことで感染しないとわかっていても、孫を抱っこすることができませんでした。治療してから思い切り抱っこできるようになって本当に嬉しいです。

### C型肝炎(51歳 女性)

治療してから歯医者さんの問診票に「肝炎」と記載しなくてよくなりました。気持ちがすごく楽になりましたね。

## 助成制度で医療費の負担が軽くなり、 治療期間も短くて助かりました

### C型肝炎(55歳 男性)

肝炎と診断されたとき、すぐ治療したいとは思いましたが、医療費が気がかりでした。しかし肝炎の治療は医療費の自己負担が軽くなることを知り、その助成制度を利用したところ、3カ月間の治療費の総額は、助成がなければ30万円近くかかる自己負担金が、3万円程度で済むことができました。

※いずれも東京肝臓友の会に寄せられた実際の相談事例より

## 病院に行かず肝がんや 肝硬変に進んでしまった経験



体のだるさは仕事の疲れのせい。  
休養すれば体調も良くなるはず

定期健診で肝機能が悪いと指摘され、体がだるかったのですが、仕事の疲れのせいだと思い込み、休養すれば治ると考えていました。しかし、この状態を十数年放っておいたら肝がんが見つかり、何とか一命はとりとめましたが、仕事は続けられず生活が一変しました。当初から自覚症状はありませんでしたが、定期検査で指摘されていたときに、すぐに病院にかかっていたら良かったと悔やんでいます。

肝機能の数値が悪いのはお酒のせい。  
みんなも数値が悪いから平気。

肝機能の数値が悪いのはお酒の飲み過ぎと思い、また周りにも同じような数字の人がたくさんいたので、特に気にとめることなく放っておきました。しかし数年後、職場で倒れ、緊急入院することになりました。お酒ではなくウイルスが原因のC型肝炎が進行し、すでに肝硬変になっていました。

## 治療に踏み切れませんでした

医師の説明でも治療の必要性が分からない

肝炎について医師から説明を受けたのですが、専門用語がたくさん出てきて、体調はなんともないのになぜ治療しなければならないのかサッパリ分からず、未だに薬は飲んでいません。

治療費や副作用が心配です

「治療費がいくらかかるか」とか「どんな副作用があるか」不安ですが、診察の時間に忙しい医師や看護師にゆっくり時間をとってもらうことは気が引けてしまいます。

## ひとりで悩まないで!! 私たちに相談して下さい!

肝炎の患者さんをさまざまな面から支援するために  
肝炎医療コーディネーターの養成が進んでいます。  
「市町村の保健師」、「医療機関の看護師、薬剤師、管理栄養士、  
医療ソーシャルワーカー、医事課職員」などの医療スタッフが、  
皆様のご相談をお待ちしています。



## 私たち肝炎医療コーディネーターは 皆さんの困りごとや相談に応えます

肝炎医療コーディネーターは、皆さんが適切な検査や治療を受けることができるように、肝疾患の専門的な知識を身につけて  
皆さんとそこご家族を親身にサポートします。

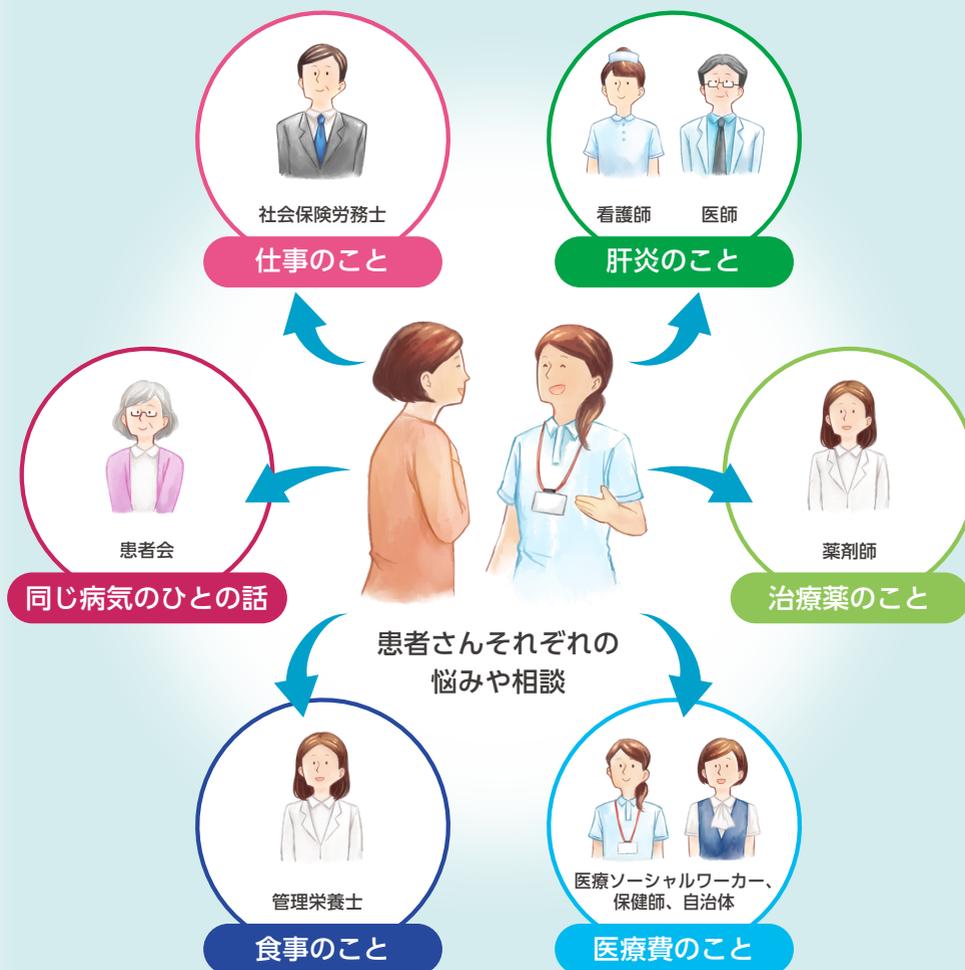
「家族との生活」「食事」「治療」「仕事」

「肝臓専門医がいる医療機関」「医療費」など、

皆さんが気になることや不安に思うことをなんでも相談できます。

肝炎医療コーディネーターは、  
個々の専門的な知識を活かして皆さんをサポートします。  
いろんな職種で力を合わせて  
一人一人の困りごとをみんなでサポートします。

### いろんな職種の肝炎医療コーディネーター



相談内容に応じて適切なスタッフがサポートします